



アイリンクタウン 展望施設オープン

10月10日(土)、JR市川駅南口に
アイリンクタウン展望施設がオープン。

地上150メートル、45階の展望ロビーと交流ラウンジ
屋上の展望デッキからの眺望・夜景をお楽しみください。

開所時間:午前9時～午後10時
展望デッキは午後9時まで
休所日:毎月第1月曜日(祝日の場合は翌日)と
12月29日～1月3日
場所:JR市川駅南口ザ・タワーズ・ウエスト(3階からエ
レベーターを利用)※収容可能人数を超える場
合は、3階エントランスにてお待ちいただきます。
問い合わせ:☎704-0057観光交流担当



市長からの手紙 127



私が市長に就任したのが平成9年12月でしたが、以来3期12年が経ちました。市の行政というのは、福祉、保健、環境、教育、都市基盤整備など、市民生活を支えるあらゆる分野に係わっています。市長という職はそのすべての舵取りを任されていますので、それだけ大変であると同時に、これほどやりがいのある仕事もないのではないかと思います。それと同時に、この複雑多岐な市の仕事をどうしたら市民に理解してもらえるか、どうしたら市政に関心を持ってもらえるか、それが就任以来の大きなテーマでした。

私が、広報いちかわに「市長からの手紙」というタイトルで、拙い文章を書き始めたのは平成10年8月でした。とかくわかりにくい市政の動きを、市民の目線に立つて私自身の言葉で語りたい、そういう願いからでした。試みに何回か書いて見ようという軽い気持ちでしたが、始めてみると案外好評で市民から「毎回楽しみにしています」という言葉もいただき、いつのまにか広報の毎月第1週号の「顔」になってしまいました。今年の春にはそれまで掲載した「手紙」に後日談などを加え、「変革と挑戦の物語」というサブタイトルで1冊の本にしました。

いま改めて「手紙」を読み返してみますと、その時々で盛んにテーマとして取り上げたことがあつて、私の3期12年の縮図のように思えます。

私が市長に就任したときは、財政が非常事態というような大変な時期で、「手紙」でもひんぱんに行財政改革を取り上げ、市民に理解をお願い

しました。一気に日本の自治体のトップになった。IT関連の話もたくさん取り上げました。私の2期目は地域をキーワードにし、市民と行政のパートナーシップを確立した時期でしたが、「手紙」の題材にも1%支援制度やごみの12分別、市民マナー条例、市民あま水条例など、パートナーシップを基礎にした本市独自の施策を次々と取り上げました。また、文化施設も大きく前進させた時期で、東山魁夷記念館を始めとする文化施設や文化施設もたくさん紹介しました。

3期目は、道路や再開発、行徳の残土など本市の長い間の懸案であった課題や、WHO・健康都市をキーワードにした新しいまちづくりも取り上げました。市民病院の民営化など、市川市の将来のための思い切った決断に理解を求める「手紙」もありました。

これら一連の手紙にありますように、財政再建も地域の復活も、懸案だった都市課題の解決も、また先進的な施策でたくさん「日本一」になったことも、ひとり私だけの力によるものではなく、市民の協力や市民のパワーがあったからこそなのです。その意味で、私はこれまで素晴らしい市民に支えられ、市川市政を担ってこられたことを限りなく誇りに思うとともに、その幸せをかみしめています。

次の市長選挙で選ばれる新しい市長に市政をバトンタッチすることになり、私の「手紙」も今回をもって終わります。ご愛読いただきましてありがとうございます。市民の皆さんに、市政の端をわかりやすくお伝えできたことすれば幸いです。

3期12年を振り返って

市川市長 千原光行

私が市長に就任したのが平成9年12月でしたが、以来3期12年が経ちました。市の行政というのは、福祉、保健、環境、教育、都市基盤整備など、市民生活を支えるあらゆる分野に係わっています。市長という職はそのすべての舵取りを任されていますので、それだけ大変であると同時に、これほどやりがいのある仕事もないのではないかと思います。それと同時に、この複雑多岐な市の仕事をどうしたら市民に理解してもらえるか、どうしたら市政に関心を持ってもらえるか、それが就任以来の大きなテーマでした。

私が、広報いちかわに「市長からの手紙」というタイトルで、拙い文章を書き始めたのは平成10年8月でした。とかくわかりにくい市政の動きを、市民の目線に立つて私自身の言葉で語りたい、そういう願いからでした。試みに何回か書いて見ようという軽い気持ちでしたが、始めてみると案外好評で市民から「毎回楽しみにしています」という言葉もいただき、いつのまにか広報の毎月第1週号の「顔」になってしまいました。今年の春にはそれまで掲載した「手紙」に後日談などを加え、「変革と挑戦の物語」というサブタイトルで1冊の本にしました。

私が市長に就任したときは、財政が非常事態というような大変な時期で、「手紙」でもひんぱんに行財政改革を取り上げ、市民に理解をお願い

しました。一気に日本の自治体のトップになった。IT関連の話もたくさん取り上げました。私の2期目は地域をキーワードにし、市民と行政のパートナーシップを確立した時期でしたが、「手紙」の題材にも1%支援制度やごみの12分別、市民マナー条例、市民あま水条例など、パートナーシップを基礎にした本市独自の施策を次々と取り上げました。また、文化施設も大きく前進させた時期で、東山魁夷記念館を始めとする文化施設や文化施設もたくさん紹介しました。

3期目は、道路や再開発、行徳の残土など本市の長い間の懸案であった課題や、WHO・健康都市をキーワードにした新しいまちづくりも取り上げました。市民病院の民営化など、市川市の将来のための思い切った決断に理解を求める「手紙」もありました。

これら一連の手紙にありますように、財政再建も地域の復活も、懸案だった都市課題の解決も、また先進的な施策でたくさん「日本一」になったことも、ひとり私だけの力によるものではなく、市民の協力や市民のパワーがあったからこそなのです。その意味で、私はこれまで素晴らしい市民に支えられ、市川市政を担ってこられたことを限りなく誇りに思うとともに、その幸せをかみしめています。

次の市長選挙で選ばれる新しい市長に市政をバトンタッチすることになり、私の「手紙」も今回をもって終わります。ご愛読いただきましてありがとうございます。市民の皆さんに、市政の端をわかりやすくお伝えできたことすれば幸いです。

広報

ICHIKAWA PUBLIC INFORMATION

いちかわ

10月3日

2009年(平成21年)
毎月第1～第4土曜日発行

No.1349

発行:市川市
編集:企画部広報広聴担当
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
TEL 047-334-1111
FAX 047-336-2300
ホームページ
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

市川市の人口
(9月1日現在)

475,797人
(前月比-123人)

男243,919人 女231,878人

219,202世帯
(前月比-77)

市政の動き

10/31(土)まで
環境家計簿モニター制度
eエコモニ

登録キャンペーン実施中

10/3(土)
幼児2人同乗用
自転車贈呈式

10/6(火)(傍聴)
社会福祉審議会

今週号の紙面から

特集 古代から未来へ
広がる夢のまち



曾谷街 回遊展

●市営霊園一般墓地
10月19日から受け付け開始
…… 2面(霊園・募集)

●いちかわ・やさしいIT講座
入門・基礎2コースを開講
…… 2面(教育・講座)

●第15回鬼高さんしゃ祭
…… 3面(地域・催し)

●乳幼児を自宅で預かる
家庭保育員
「ファミリー・ママ」募集
…… 6面(育児・募集)